

京都そのべ市場

中心市街地核店舗企画・設計事業

1) 事業者概要

実施団体名	京都そのべ市場
グループ人数	10 名
所在地	京都府船井郡園部町本町36
ホームページ	-

2) 事業内容

実施期間	平成 16 年 8 月～平成 17 年 2 月
総事業費	770 千円

事業実施の背景

中心市街地の再開発事業が行われているなか、中小零細商業者が中心市街地の商業活性化や大型店（大資本）の進出に対処するため、地域にマッチしたグループ共同の取組を実施していく必要があった。

内 容

- 1) 地域にマッチしたソフト事業の調査研究
(宅配サービス・共同納入、トータルオペレーション等)
- 2) 情報技術を地域密着型で利用する商業サービスの調査研究
(電子チラシ、携帯メール配信)
- 3) 中心市街地キー店舗の調査研究
(核店舗の企画設計等)

目標及び達成状況

(目標)

「消費者と商業者の接点を増やす」ことをキーに個店別の取組を一本化していく。

(達成状況)

中心市街地での生鮮食品を中心とした店舗の企画設計は、案の域を出ることはできなかったが、案を実現し、商売に結び付けていく手段として、グループの法人化への目途を立てることができた。店舗の企画設計は、具体的なビジネス企画ができなかったため、詳細なものをつくることはできなかったが、事業計画の礎はできたことを考えると、50%ぐらいの達成状況である。

効果及び評価

- 1) 中心市街地で生鮮食品を中心とした商業グループが運営者としての自覚をもち、自らの事業として取り組む積極的な姿勢が醸成された。また、事業展開に対するヒントを多く発見することができた。
- 2) 地域や学生に対しての商売のモデルを考察することが出来た。
- 3) 地域を発信する取組の問題点を発見できた。
- 4) 本事業に取り組んだメンバーが今後も継続して事業に取り組む姿勢であることが、もっとも評価すべき点である。
- 5) 本事業がグループを事業協同組合として法人化し継続的に取り組む形をつくる土台となった。

実施後の反省点

事業を進めるために、十分な時間を割く事ができなかった。

(次年度以降の取組等)

京都そのべ市場事業協同組合を設立する。

中心市街地の事業運営主体となれるように、グループで事業を継続していく。

事業成果のワンポイント

小売・業務卸・宅配の複合業態によるビジネスモデル構築を目指し、地域住民や園部へ通学する学生等の消費者を対象とするリサーチを実施。事業化の目途が立ったことから、平成17年4月に協同組合を設立するに至った。



グループの会合